

Integrity委員会 2023年度活動報告

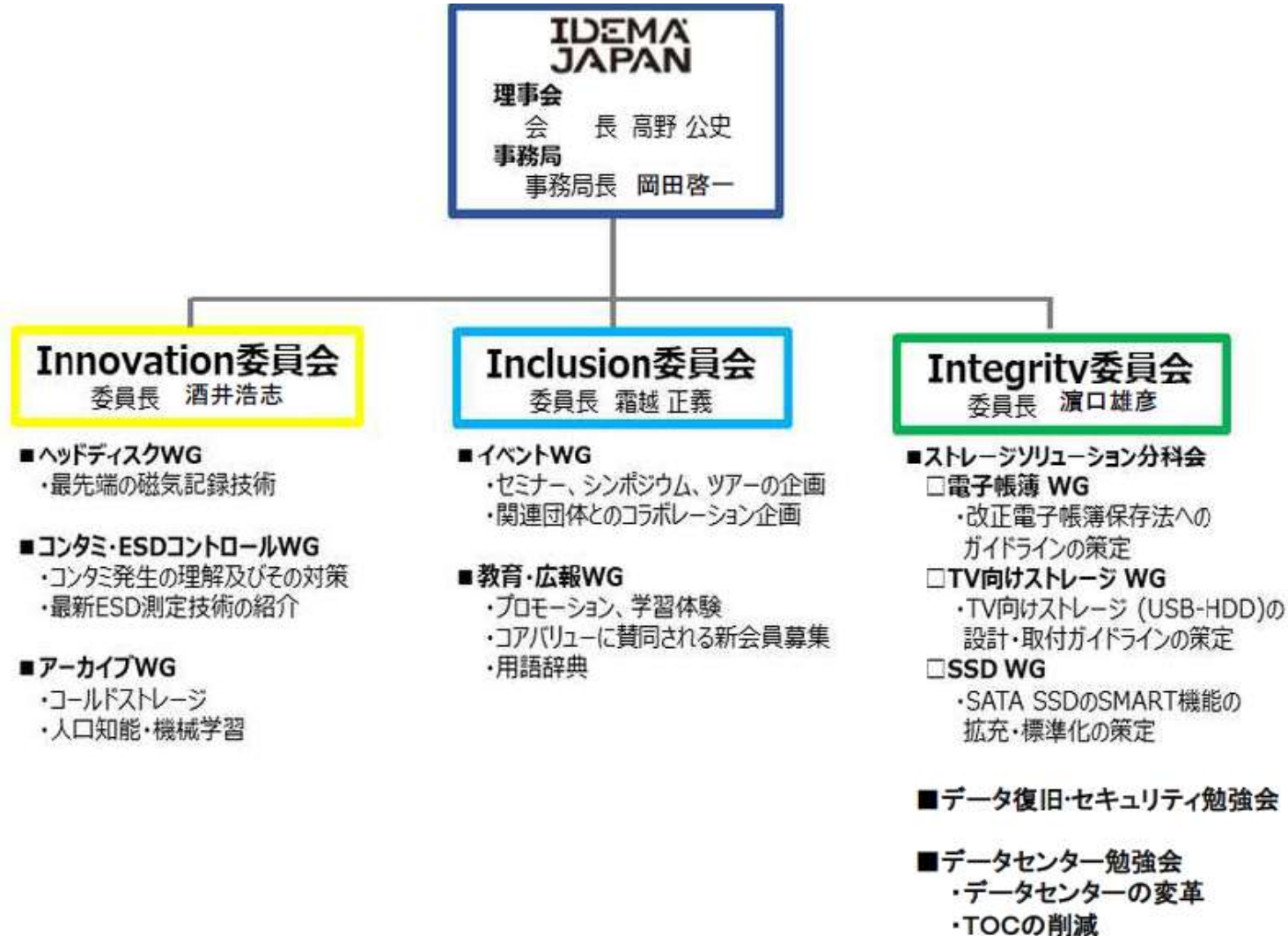
2023年12月13日

IDEMA JAPAN, Integrity委員会

濱口雄彦 (Western Digital Technologies Japan)

IDEMA[®]
JAPAN

IDEMA Japan New Organization



Integrity委員会構成

- 電子帳簿WG 堀英司（アイ・オー・データ機器）
- TV向けストレージWG 清水亮輔（ミカサ商事）
- SSD WG 長瀬芳伸（JVCケンウッド）
- データセンター勉強会 岡田啓一（ユニテックス）
- データ復旧・セキュリティ勉強会：来年1月に新リーダーを選任して、Surveillance監視カメラWGとマージして再スタートします

Highlight : PFAS規制対応

- 背景
 - 現在、PFAS (有機フッ素化合物)のうち有害性が指摘されている、PFOS(パーフルオロオクタンスルホン酸)、PFOA(パーフルオロオクタン酸)が規制済み
 - 2023年1月13日に、PFAS(有機フッ素化合物)全般を規制する提案が、デンマーク、ドイツ、オランダ、ノルウェー、スウェーデンからECHAに提出
 - ECHAでは対象とする規制案の検討を進めていて、2023年3月から9月までパブリックコメントを募集した。規制の採択は25年ごろと想定されている
 - HDD製品では数十年にわたりFを含むlubricantをディスク表面に使用している。製品の100%で採用しており、代替物質は無い
- IDEMA 事務局、東芝、Resonac、Moresco、Western Digital、で対応チームを立ち上げ (5/18)
- IDEMAから、PFAS規制に対するパブリックコメントを提出した (9/14)
 - ECHAのPFAS関連ページ <https://echa.europa.eu/restrictions-under-consideration/-/substance-rev/72301/term>
 - パブリックコメント <https://echa.europa.eu/comments-submitted-to-date-on-restriction-report-on-pfas> (ID = 7586, Table = 66)
 - 有機フッ素化合物はHDDの磁気ヘッドと媒体間の摩擦摩耗の防止のため必要不可欠な材料である
 - HDDの磁気ヘッドと媒体間の摩擦摩耗の防止のために用いられる潤滑剤は、規制からの除外を求める。全ての有機フッ素化合物を一括りに規制する今回の制限案は、データストレージシステムの大容量・高性能化に対して利点がなく、世界経済の発展・人類の進歩を阻害する過剰な措置と考える
 - HDDの媒体に塗布される潤滑剤は1nm程度の厚さであり、製品重量比で100ppb以下と極めて少量
 - HDD製品ではFを含むパーツを使用するケース、Fを含むlubricantを製造工程で使用するケースがあるが、100%ではないために対象外とする



Thank you